令和6年度　卒業生アンケート　報告書　（人間学部）

【調査目的】

　卒業生に対して、在学中に身に付けた能力及び資質並びに当該能力等の実社会での有用度等について、就職先等における社会経験に基づき意見を聴取し、本学の教育の効果を検証し今後の教育改善に資するものとする。

【調査方法】

アンケートフォームにて調査を行う。

【調査時期】

2024/8/5～2024/8/26

【調査対象者】

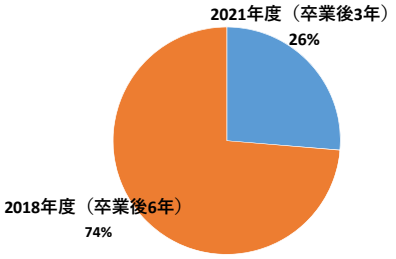
2021年度卒業生(卒後3年)・2018年度卒業生(卒後6年)

【回答率】

2021年度（卒業後3年）	18%	（28人中5人）
2018年度（卒業後6年）	40%	（35人中14人）
学部全体	30%	（63人中19人）

1．卒業年度

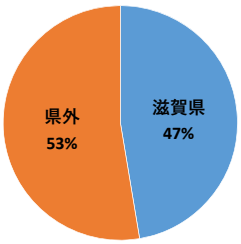
選択肢	回答数	
2021年度（卒業後3年）	5	26%
2018年度（卒業後6年）	14	74%
合計	19	
未回答	0	



2．あなたのお住まいを教えてください

回答	回答数	
滋賀県	9	47%
県外	10	53%
合計	19	
未回答	0	

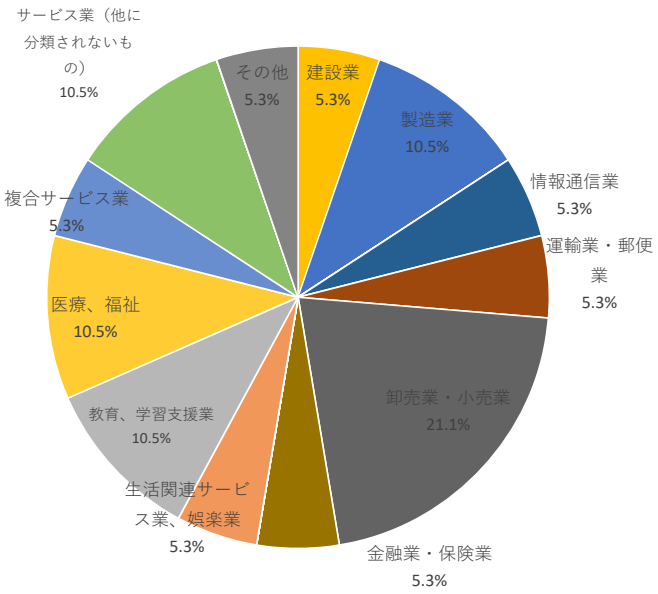
県外内訳(埼玉県、群馬県、山梨県、愛知県、岐阜県、京都府、兵庫県、山口県、鹿児島県)



3．現在お勤めの機関を教えてください。

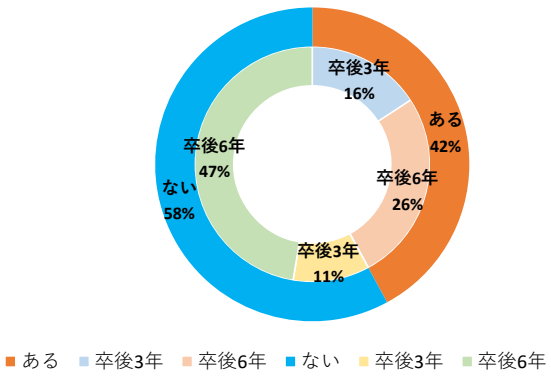
回答	回答数	
農業・林業	0	0%
漁業	0	0%
鉱業・採石業・砂利採集業	0	0%
建設業	1	5%
製造業	2	11%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0%
情報通信業	1	5%
運輸業・郵便業	1	5%
卸売業・小売業	4	21%
金融業・保険業	1	5%
不動産業・物品賃貸業	0	0%
学術研究、専門・技術サービス業	0	0%
宿泊業、飲食サービス業	0	0%
生活関連サービス業、娯楽業	1	5%
教育、学習支援業	2	11%
医療、福祉	2	11%
複合サービス業	1	5%
サービス業（他に分類されないもの）	2	11%
公務（他に分類されているものを除く）	0	0%
勤めていない		0%
その他	1	5%
合計	19	
未回答	0	

※その他（看護学生）



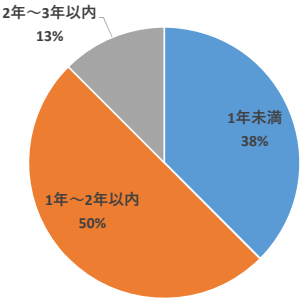
4-1．卒業後、転職または離職をされたことがありますか。

回答	回答数		内訳	
			卒後3年	卒後6年
ある	8	42%	3	5
ない	11	58%	2	9
合計	19			
未回答	0			



4-2．4-1で「ある」と回答された方は、いつ転職または離職されましたか。
複数回ある場合は、最初の転職または離職された時期を教えてください

回答	回答数	
1年未満	3	38%
1年～2年以内	4	50%
2年～3年以内	1	13%
合計	8	



4-3．4-1で「ある」と回答された方は、現在のお勤め先を教えてください。

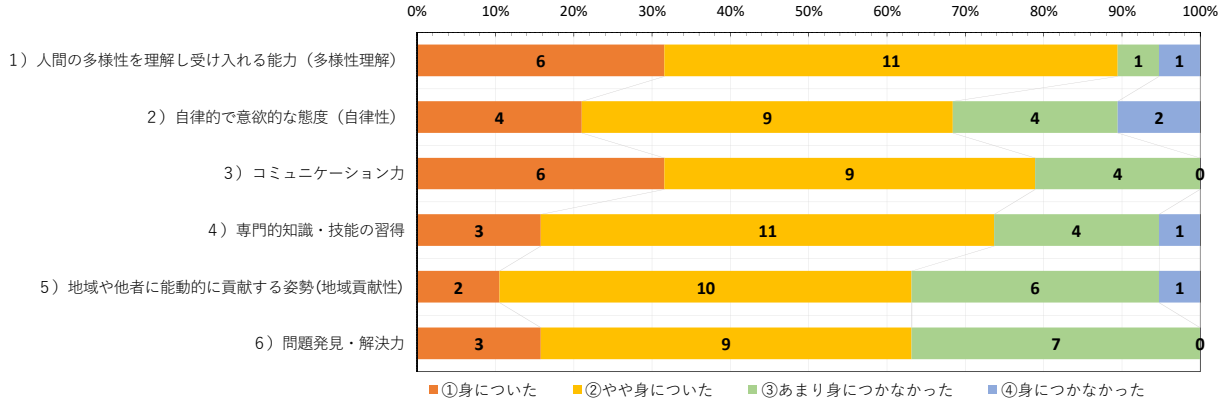
・ゴルフ場　・放課後等デイサービス　・ペットショップ　・京都看護助産学校　・製造業　・株式会社湖光
・希望が丘文化公園

5. 聖泉大学では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）において、卒業時までに身につけてほしい能力・資質として以下の１）～６）の６項目を掲げています。

①「卒業時」：卒業時を振り返って、本学でうけた教育による学修成果として、これらの能力・資質がどの程度身についていたと思われますか。

①身についた
②やや身についた
③あまり身につかなかった
④身につかなかった

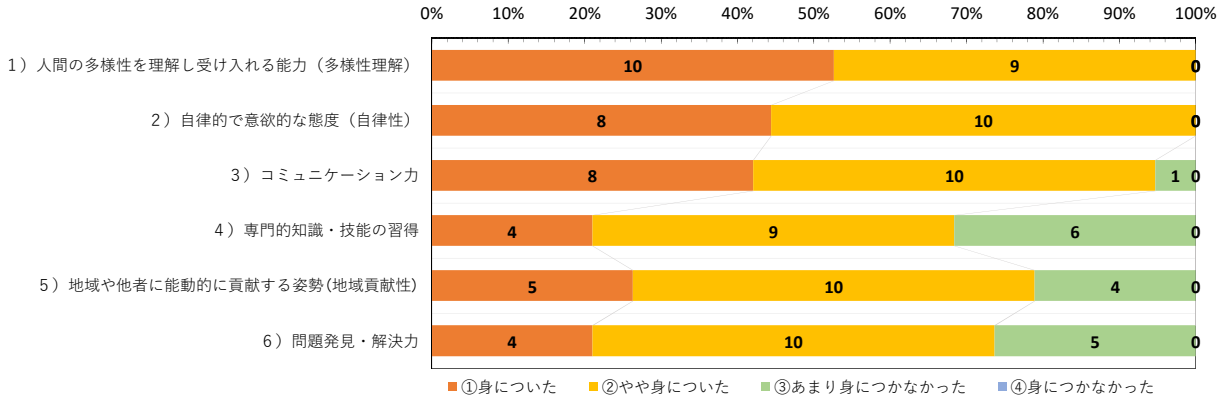
	①		②		③		④		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1）人間の多様性を理解し受け入れる能力（多様性理解）	6	32%	11	58%	1	5%	1	5%	19	100%
2）自律的で意欲的な態度（自律性）	4	21%	9	47%	4	21%	2	11%	19	100%
3）コミュニケーション力	6	32%	9	47%	4	21%	0	0%	19	100%
4）専門的知識・技能の習得	3	16%	11	58%	4	21%	1	5%	19	100%
5）地域や他者に能動的に貢献する姿勢(地域貢献性)	2	11%	10	53%	6	32%	1	5%	19	100%
6）問題発見・解決力	3	16%	9	47%	7	37%	0	0%	19	100%



②「現在」：卒業後、実社会で積み重ねてこられた経験を通して、これらの学修成果は、現在においてどの程度身についているとお考えですか。

①身についた
②やや身についた
③あまり身につかなかった
④身につかなかった

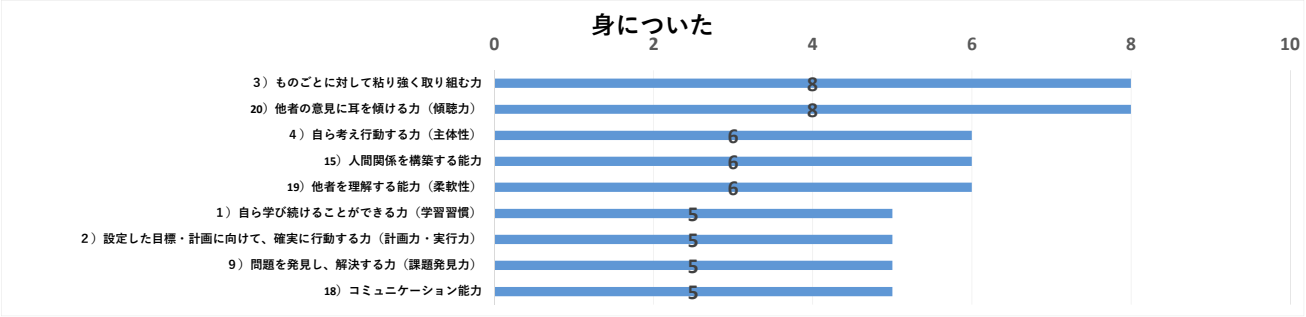
	①		②		③		④		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1）人間の多様性を理解し受け入れる能力（多様性理解）	10	53%	9	47%	0	0%	0	0%	19	100%
2）自律的で意欲的な態度（自律性）	8	44%	10	56%	0	0%	0	0%	18	100%
3）コミュニケーション力	8	42%	10	53%	1	5%	0	0%	19	100%
4）専門的知識・技能の習得	4	21%	9	47%	6	32%	0	0%	19	100%
5）地域や他者に能動的に貢献する姿勢(地域貢献性)	5	26%	10	53%	4	21%	0	0%	19	100%
6）問題発見・解決力	4	21%	10	53%	5	26%	0	0%	19	100%

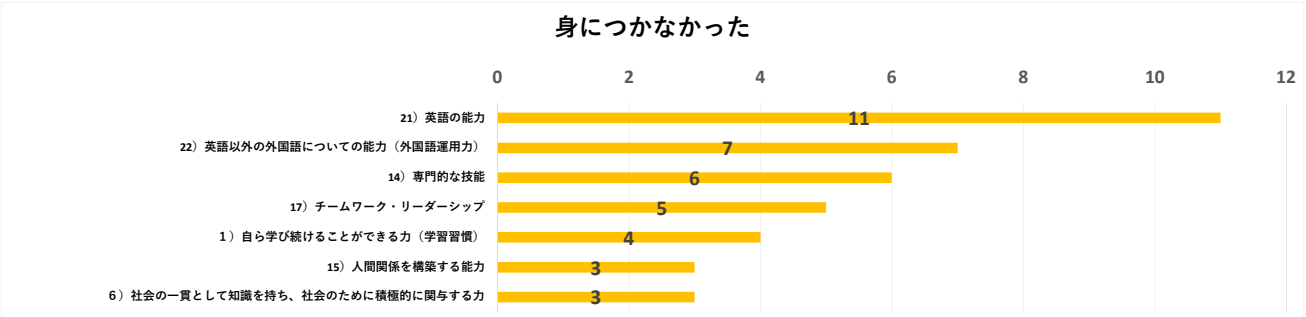


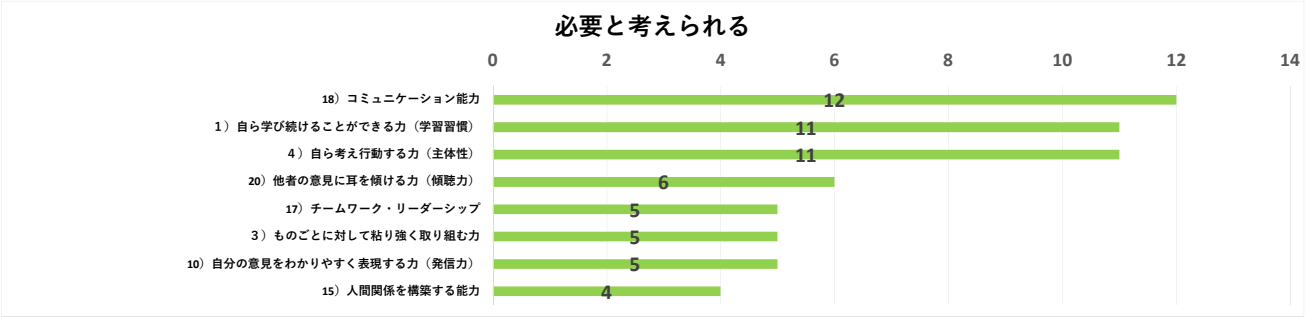
6. 本学で受けた教育のうち、以下の学士力・社会人基礎力についてお伺いします。

6-1. 身についたと考えられる項目を5つまで選択してください。
6-2. 身につかなかったと考えられる項目を5つまで選択してください。
6-3. 実社会における経験に照らして必要と考えられるものについて５つまで選択してください。

質問内容	身についた		身につかなかった		必要と考えられる	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1）自ら学び続けることができる力（学習習慣）	5	6%	4	6%	11	13%
2）設定した目標・計画に向けて、確実に行動する力（計画力・実行力）	5	6%	1	2%	4	5%
3）ものごとに対して粘り強く取り組む力	8	10%	1	2%	5	6%
4）自ら考え行動する力（主体性）	6	8%	2	3%	11	13%
5）学んだ知識や経験を結びつけ総合的に活用する力	2	3%	2	3%	1	1%
6）社会の一員として知識を持ち、社会のために積極的に関与する力	0	0%	3	5%	4	5%
7）地域社会が直面する問題を理解する力（社会問題の俯瞰的理解）	0	0%	3	5%	0	0%
8）多様な情報を収集、分析する力（統計分析・数値分析）	4	5%	2	3%	1	1%
9）問題を発見し、解決する力（課題発見力）	5	6%	0	0%	3	3%
10）自分の意見をわかりやすく表現する力（発信力）	3	4%	1	2%	5	6%
11）科学的・数量的にものごとを見る力（数値処理能力）	2	3%	2	3%	0	0%
12）批判的に考える力	3	4%	2	3%	0	0%
13）専門分野についての知識（専門知識）	1	1%	2	3%	0	0%
14）専門的な技能	2	3%	6	10%	0	0%
15）人間関係を構築する能力	6	8%	3	5%	4	5%
16）他者と協調・協働して行動する力（働きかけ力）	3	4%	0	0%	4	5%
17）チームワーク・リーダーシップ	0	0%	5	8%	5	6%
18）コミュニケーション能力	5	6%	2	3%	12	14%
19）他者を理解する能力（柔軟性）	6	8%	0	0%	4	5%
20）他者の意見に耳を傾ける力（傾聴力）	8	10%	0	0%	6	7%
21）英語の能力	0	0%	11	18%	2	2%
22）英語以外の外国語についての能力（外国語運用力）	1	1%	7	11%	2	2%
23）一般的な教養（人文・社会・自然科学についての知識）	1	1%	2	3%	0	0%
24）社会のルールや規範に従って行動する力（規律性）	1	1%	1	2%	3	3%







7．実社会での経験を踏まえて大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたら、ご記入ください。また、よろしければその理由をご記入ください。

ゼミ活動の沖島にての落語活動など地域を盛り上がる活動や、映画のロケ地に行き映画のロケ地で盛り上がる活動など
社会学
キャリア創造論
論文の提出がある授業学校でしか文字数の多い論文を書く機会がなかったので、 分かりやすい文章の書き方など何度も経験する中で身についたと思います。 仕事でもパソコンは当たり前に使えないといけなかったのでパソコンに触ることに慣れたのも良かったです。
教育論
社会心理学
表計算　社会人になってからExcelを使いこなせると便利だと実感した
キャリアデザインB
社会学関連の授業。ジェンダー関連の話や地域社会に関して学んだおかげでジェンダーに 関して偏見は一切持たなくなり、地域社会に関連した仕事にやりがいが持てるきっかけになりました。
スポーツ心理学

8．今後何らかの形でさらに学ぶとしたら、あなたのキャリア形成として、どのようなことが学びたいですか。

マーケティング戦略
企業において人事などの事を学びたい
子どもの成長過程、人間の心理
経営学
経営や管理など
英語
簿記等資格を取得していないため、今後のために事務系の資格取得を視野に入れていきたい。
児童福祉
AIについて
英語
指導する立場としての立ち振る舞い
コミュニケーション
リーダーシップや実際の現場に使えるような能力についての分野があれば学びたいです。 実際の現場の声とか、様々な職種だとこういうことがあるとかの実体験の話とかを聞く機会があれば学びたいです。 記憶力が落ちてしまって過去に学んだかどうかどうしても思い出せていないので、もし既にしていたら申し訳ございません。
リーダーシップについて

9．教育を含め、本学全般にわたって意見等ございましたら、自由にご記入ください。

小さい大学だからこそ親しみやすい大学です。
心理学科がなくなって寂しいです
人間学部が募集終了と聞いて本当に寂しいです。難しいとは思いますが、先生達と会える機会を設けていただけると嬉しいなと思います。
授業、ホッケーのみならずバイトによる社会経験の4年間全体を通して学び感じることはとても 多くいろんな人との出会いもありかけがえのないものに今感じてます。 当時なにを学んだかより私はいろんな人と関わりがあったことで学び感じることができたと思ってます。

令和6年度　卒業生アンケート　報告書　（看護学部）

【調査目的】

　卒業生に対して、在学中に身に付けた能力及び資質並びに当該能力等の実社会での有用度等について、就職先等における社会経験に基づき意見を聴取し、本学の教育の効果を検証し今後の教育改善に資するものとする。

【調査方法】

アンケートフォームにて調査を行う。

【調査時期】

2024/8/5～2024/8/26

【調査対象者】

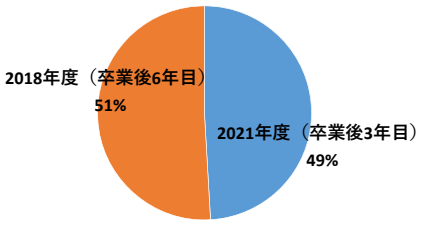
2021年度卒業生(卒後3年)・2018年度卒業生(卒後6年)

【回答率】

2021年度（卒業後3年）	36%	（75人中27人）
2018年度（卒業後6年）	42%	（66人中28人）
学部全体	39%	（141人中55人）

1．卒業年度

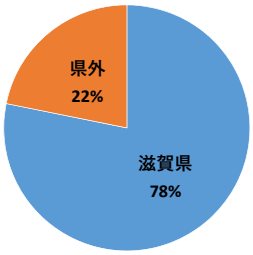
選択肢	回答数	
2021年度（卒業後3年目）	27	49%
2018年度（卒業後6年目）	28	51%
合計	55	
未回答	0	



2．あなたのお住まいを教えてください

回答	回答数	
滋賀県	43	78%
県外	12	22%
合計	55	
未回答	0	

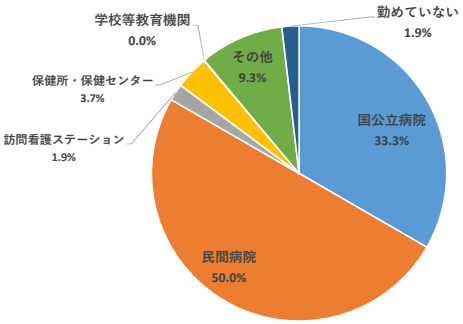
県外内訳(東京都、石川県、愛知県、福井県、岐阜県、三重県、京都府、大阪府)



3．現在お勤めの機関を教えてください。

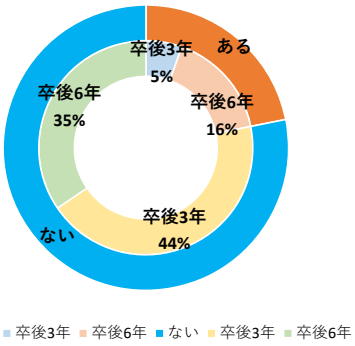
回答	回答数	
国公立病院	19	35%
民間病院	27	49%
訪問看護ステーション	1	2%
保健所・保健センター	2	4%
学校等教育機関	0	0%
その他	5	9%
勤めていない	1	2%
合計	55	
未回答	0	

[⑥その他]の詳細
・保育園、愛荘町役場、物流関係の一般企業、クリニック、総合病院



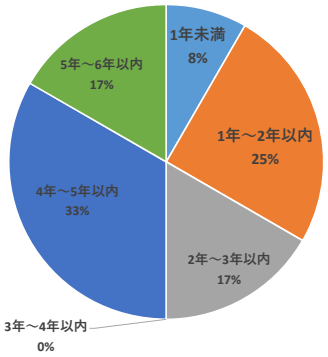
4．卒業後、転職または離職をされたことがありますか。

回答	回答数		内訳	
			卒後3年	卒後6年
ある	12	22%	3	9
ない	43	78%	24	19
合計	55			
未回答	0			



4-2．4-1で「ある」と回答された方は、いつ転職または離職されましたか。

回答	回答数	
1年未満	1	8%
1年～2年以内	3	25%
2年～3年以内	2	17%
3年～4年以内	0	0%
4年～5年以内	4	33%
5年～6年以内	2	17%
合計	12	



4-3．4-1で「ある」と回答された方は、現在のお勤め先を教えてください。

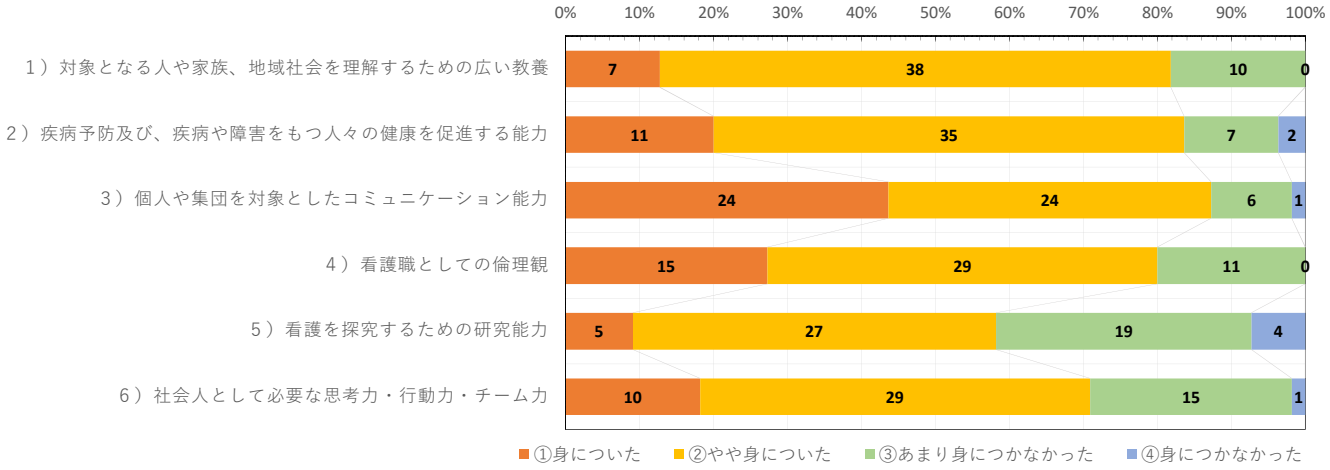
・桝辻病院	・保育園	・愛荘町役場	・岩砂マタニティ（産婦人科）	・物流関係の一般企業
・耳原総合病院	・坂本クリニック	・保険センター	・自営業	・長浜赤十字病院
・滋賀里病院	・病院			

5．聖泉大学では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）において、卒業時までに身につけてほしい能力・資質として以下の１）～６）の６項目を掲げています。

①「卒業時」：卒業時を振り返って、本学でうけた教育による学修成果として、これらの能力・資質がどの程度身についていたと思われますか。

①身についた
②やや身についた
③あまり身につかなかった
④身につかなかった

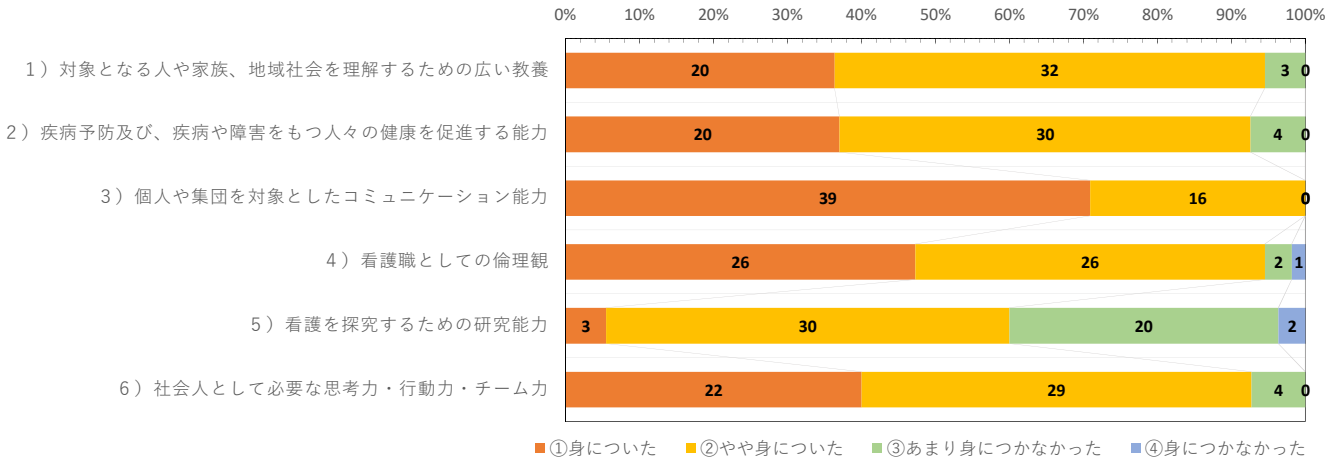
ディプロマ・ポリシー	①		②		③		④		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1）対象となる人や家族、地域社会を理解するための広い教養	7	13%	38	69%	10	18%	0	0%	55	100%
2）疾病予防及び、疾病や障害をもつ人々の健康を促進する能力	11	20%	35	64%	7	13%	2	4%	55	100%
3）個人や集団を対象としたコミュニケーション能力	24	44%	24	44%	6	11%	1	2%	55	100%
4）看護職としての倫理観	15	27%	29	53%	11	20%	0	0%	55	100%
5）看護を探究するための研究能力	5	9%	27	49%	19	35%	4	7%	55	100%
6）社会人として必要な思考力・行動力・チーム力	10	18%	29	53%	15	27%	1	2%	55	100%



②「現在」：卒業後、実社会で積み重ねてこられた経験を通して、これらの学修成果は、現在においてどの程度身についているとお考えですか。

①身についた
②やや身についた
③あまり身につかなかった
④身につかなかった

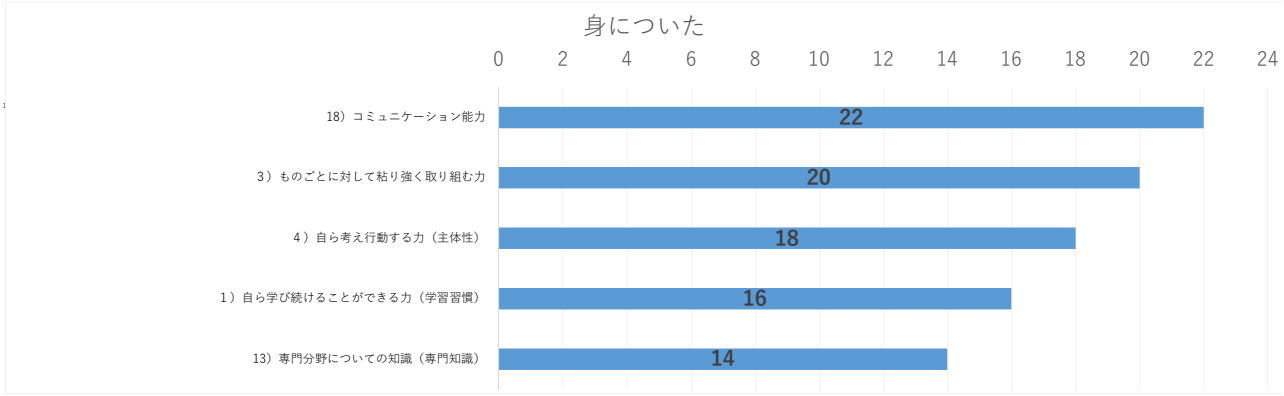
ディプロマ・ポリシー	①		②		③		④		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1）対象となる人や家族、地域社会を理解するための広い教養	20	36%	32	58%	3	5%	0	0%	55	100%
2）疾病予防及び、疾病や障害をもつ人々の健康を促進する能力	20	37%	30	56%	4	7%	0	0%	54	100%
3）個人や集団を対象としたコミュニケーション能力	39	71%	16	29%	0	0%	0	0%	55	100%
4）看護職としての倫理観	26	47%	26	47%	2	4%	1	2%	55	100%
5）看護を探究するための研究能力	3	5%	30	55%	20	36%	2	4%	55	100%
6）社会人として必要な思考力・行動力・チーム力	22	40%	29	53%	4	7%	0	0%	55	100%

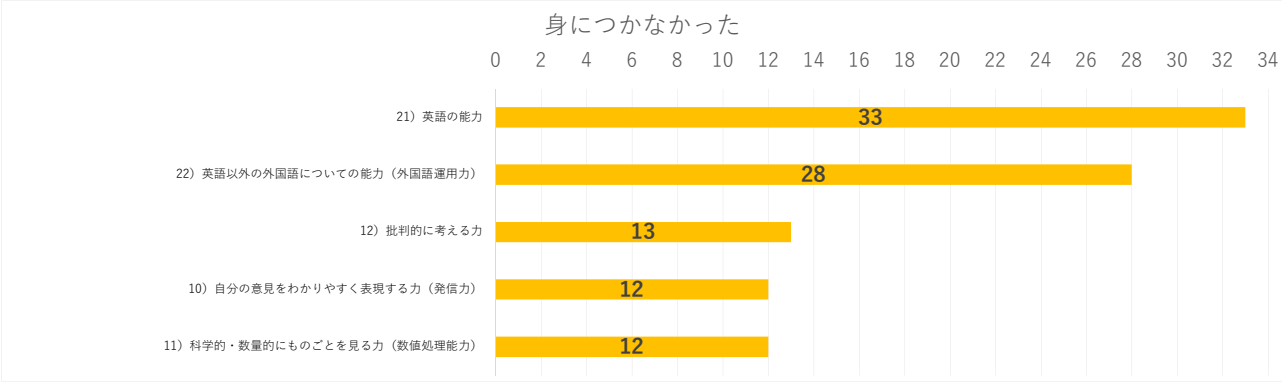


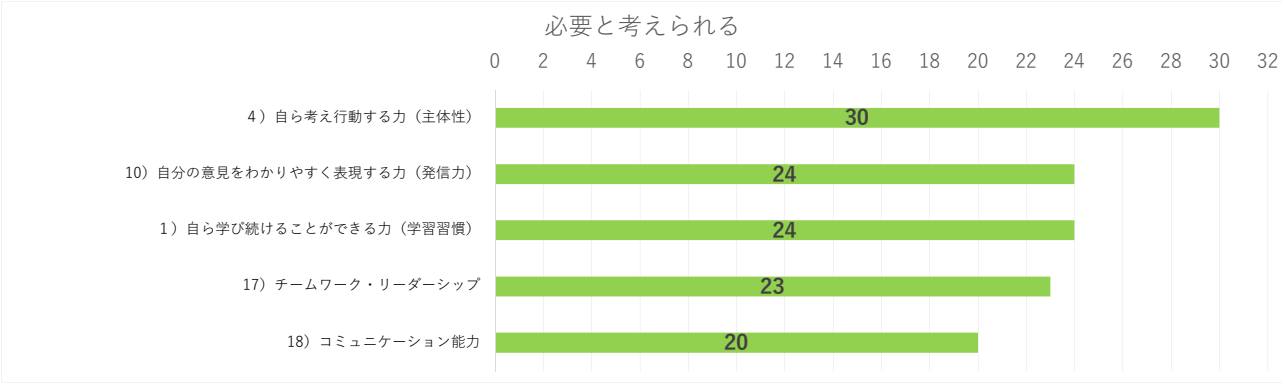
6．本学で受けた教育のうち、以下の学士力・社会人基礎力についてお伺いします。

6-1．身についたと考えられる項目を5つまで選択してください。
6-2．身につかなかったと考えられる項目を5つまで選択してください。
6-3．実社会における経験に照らして必要と考えられるものについて５つまで選択してください。

質問内容	身についた		身につかなかった		必要と考えられる	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1）自ら学び続けることができる力（学習習慣）	16	7%	10	5%	24	10%
2）設定した目標・計画に向けて、確実に行動する力（計画力・実行力）	10	5%	4	2%	14	6%
3）ものごとに対して粘り強く取り組む力	20	9%	3	2%	9	4%
4）自ら考え行動する力（主体性）	18	8%	7	4%	30	12%
5）学んだ知識や経験を結びつけ総合的に活用する力	12	5%	6	3%	13	5%
6）社会の一員として知識を持ち、社会のために積極的に関与する力	10	5%	6	3%	7	3%
7）地域社会が直面する問題を理解する力（社会問題の俯瞰的理解）	6	3%	6	3%	1	0%
8）多様な情報を収集、分析する力（統計分析・数値分析）	7	3%	11	6%	7	3%
9）問題を発見し、解決する力（課題発見力）	5	2%	5	3%	13	5%
10）自分の意見をわかりやすく表現する力（発信力）	10	5%	12	6%	24	10%
11）科学的・数量的にものごとを見る力（数値処理能力）	0	0%	12	6%	2	1%
12）批判的に考える力	6	3%	13	7%	2	1%
13）専門分野についての知識（専門知識）	14	6%	7	4%	16	6%
14）専門的な技能	8	4%	11	6%	9	4%
15）人間関係を構築する能力	13	6%	0	0%	10	4%
16）他者と協調・協働して行動する力（働きかけ力）	11	5%	1	1%	9	4%
17）チームワーク・リーダーシップ	2	1%	10	5%	23	9%
18）コミュニケーション能力	22	10%	5	3%	20	8%
19）他者を理解する能力（柔軟性）	9	4%	0	0%	7	3%
20）他者の意見に耳を傾ける力（傾聴力）	10	5%	0	0%	4	2%
21）英語の能力	1	0%	33	17%	2	1%
22）英語以外の外国語についての能力（外国語運用力）	0	0%	28	14%	0	0%
23）一般的な教養（人文・社会・自然科学についての知識）	6	3%	6	3%	2	1%
24）社会のルールや規範に従って行動する力（規律性）	5	2%	3	2%	1	0%







7．実社会での経験を踏まえて大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたら、ご記入ください。また、よろしければその理由をご記入ください。

疾患を習う授業　知識に繋がるため。
成人、老年、在宅、母性のアセスメントの授業では、実習だけでなく臨床に出てからとても役立った。患者さんの生活背景を知るための情報収集、それらを総合的にアセスメントし問題を見つけて優先順位をつけることを授業で学んだから、実際に臨床に出てから頭の中で組み立てることができるようになってきました。
疾病
大学時代から年数が経ちすぎて覚えていない。
卒業論文、やり遂げるというのを学ぶことができたから。
コミュニケーション論
実際に働いておられる方からの話を聞く機会は、イメージが持ちやすかったです。
成人看護学（他の学校より深く学べていると実感する）
医療倫理
母性看護実習
身体の構造と機能について
解剖生理学
フィジカルアセスメント
実習です。ほんとにしんどいことばかりで大変でしたが、実際に患者さんとゆっくり向き合える時間をいただけたのは有意義な時間であったと思います。
疾病の授業は大変でしたが、学びを深めるためには必要だったと思います。その他にも国試に向けての勉強期間は有意義だったと思います。現在小児科で勤務しているので、様々な科の知識が必要です。入職して改めて勉強する際に、基礎的な部分を備えていることで理解がしやすかったりしました。 また、実習の経験は、とても大事だったと思います。グループワークで協調性やリーダーシップなどを伸ばし、実習先での言葉遣いや社会のルールを学ぶ機会になりました。
グループワーク
疾病の病態、疾病の流れがわかるとどんな症状が出るのかなど流れで覚えられるから
老年看護学
精神看護技術論
キャリア教育で、現役の先輩看護師から直接話を聞く機会があったことは有意義だったと思います。また、コロナ世代でオンラインでの授業が主流であったため、就職してからのオンラインでの研修などもスムーズに受けられたと思います。
体育　気分転換になるため
グループでの実習
保健師の授業はチームワークで地域の人たちと密着して学べたため、楽しかった。看護師の視点だけでなく、いろんな視点から学べたのが大学ならではでよかった。
基礎看護、基礎看護での授業は、新人看護師として右も左も分からないとき、基礎看護で学んだ技術はすぐに実践できたため。
看護管理に関する授業
基礎看護学を学んだことで、臨床でも手技を思い出しながら活用することができているため。
小児科　自分の子供の発達や病気をしたときに知識があるからよかった。

8．今後何らかの形でさらに学ぶとしたら、あなたのキャリア形成として、どのようなことが学びたいですか。

母乳育児、母体救命
心電図、リーダーシップ、感染、スキンテア
養護教諭の養成所に行きたい。
急性期看護
英語力
管理、経営
経済学、法律、数学
母子看護
病院の管理職について
施設看護師に興味がある
大学外での学習、単位が取得できるもの
エンドオブケアライフガン看護、治療専門看護師育成
自分の意見をわかりやすく伝える力
災害看護
特に現在学びたいことはありません。
コミュニケーション
看護師で取得可能な資格。専門的な分野について。
急変時の対応、人工呼吸器など
専門的な知識
指導能力
精神看護をもっと学んでみたい
助産師
看護の実践能力
現在手術室に勤務しており、特定看護師などもおられる環境なため、麻酔のことなどに関して学びたい。
専門的知識
看護研究
看護師と私生活を両立する方法
助産に進学するor認定看護師になる大学院への進学
看護学部卒業後、別科助産へ進み、助産師として働いているため、母乳支援について深く学びたいと思っている。
アートメイク

9．教育を含め、本学全般にわたって意見等ございましたら、自由にご記入ください。

アットホームな聖泉大学だからこそ身についたコミュニケーション能力や協調性など、社会に出てからとても大事な事だと思わされることばかりです。看護師、助産師としてだけでなく、人として大切なことをたくさん学びました。聖泉大学で学ぶことができてよかったと思っています。本当にお世話になりました。
椅子が硬い。
教員の入れ替わりが激しく、卒業後のフォローがしてもらえないのが残念です。
技術的な面ももう少し学べたら良い
多くのことを学ばせて頂き、ありがとうございました。現在も新卒で採用していただいた場所で何とかがんばっています。
学内ではグループで固まっているため、コミュニケーションは一定の人になっていると感じる。他学年との関わりが少しあれば、コミュニケーション力につながると思う。
充実してた
親身になって相談にのってくださる先生のおかげで、不安だった将来についてじっくりと考えることができ、卒業後も看護師として働けています。ありがとうございました！
資格を取る上での学習はしっかりできたし、友達や仲間もたくさんできたが、大学全体が暗い雰囲気でキャンパスライフはあまり楽しめなかったかなと思う。
在学中は親身になってくれる教職員の方や友人に支えられ、とても有意義な学生生活を送ることができました。たくさんの人に聖泉大学の魅力を知ってほしいです。
小規模な大学であるため、先生との距離が近くアットホームであること。卒業後もゼミの先生に相談することができる。先生方が親身になって相談に乗ってくれる。 小児科病棟で勤務していた時はPMECに参加し色々な採血や処置に関する情報を得ることができた。
日常会話の英語も良いけれど、外国人患者に対応できる、簡単な英語のやり取りを学べると良いと思う。